

総合戦略関連事業進捗状況一覧表

【資料2】

基本目標 気持ちいい住環境 “暮らしたいまち”がある

チャレンジする 重点事業	新たにチャレンジする 主な取り組み	担当課	「新たにチャレンジする主な取り組み」について 令和6年度に取り組んだ内容
犬山市での子育てと女性の活躍を応援します	「応援チーム」と連携した子育てと女性の活躍 応援事業	子育て支援課	応援チーム(NPO法人にこっと)に利用者支援等業務委託を行い、女性の活躍応援につながる講座を令和5年度より増やし、2回開催。
	子育てと女性の活躍応援事業の情報発信	子育て支援課	子育て応援情報サイト(ポンテ)で発信する情報を充実させ、女性活躍応援拠点(さんにいれ)での情報発信を実施。
	病児保育事業の実施	子ども未来課	令和6年4月より市からの委託事業として、総合犬山中央病院において病児保育事業を開始。
	多子世帯支援策の強化	産業課 都市計画課 子育て支援課 健康推進課 学校教育課 防災交通課 子ども未来課	・お米配布(対象世帯に10kg) ・定住促進サポート事業における補助額の加算(20万円)【実施:2件】 ・ファミリーサポートセンターを利用した付添支援(4か月・1歳6か月・3歳児健康診査受診時)【実績:0件】 ・育児用品宅配事業(1歳未満の多子世帯へ紙おむつを1歳の誕生日まで自宅に宅配)【実績:106世帯、宅配件数:延323件】 ・第3子以降の児童生徒の給食費無料化 ・アレルギーにより給食を食べられない子どもへの給食費相当額の補助金支給 ・わん丸君バス無料乗車券の配布 ・第3子以降の3歳児未満児の保育料の無料化 ・児童クラブ利用手数料の無料化 ・家事援助等ヘルパー派遣事業 さらに、各課で推進できる多子世帯に対する支援策のさらなる実施を呼びかけ、多子世帯事業の拡充を図った。
	産後ケア事業の開始	健康推進課	・特定の医療機関に宿泊や通所する「宿泊型」と「通所型」、助産師が自宅へ訪問する「訪問型」により相談や支援を実施。(実績: 宿泊型17件、通所型1件、訪問型45件。) ・通所型は令和6年度より新たに実施。
子育て支援施設を計画的に整備します	子ども未来園施設整備	子ども未来課	・こども未来園施設整備10ヶ年計画に基づき、橋爪・五郎丸子ども未来園を統合し、新園舎「橋五子ども未来園」を建築、令和7年4月に開園。 ・ニーズに合わせた未満児保育室の改修を進めるため、城東第二子ども未来園と羽黒南子ども未来園の設計業務委託を実施。
あらたな商業立地を積極的にすすめます	橋爪・五郎丸地区での道の駅エリア整備	都市計画課	道の駅を白紙としたことから、エリアの整備方針を市街化区域への編入による新たなまちづくりへと方向転換し、市街化区域編入のための整備手法として組合施行による土地区画整理事業へと取組内容を変更、組合設立に向けて地権者や関係機関等との検討・協議を開始。
	幹線道路への商業施設誘致	産業課	・小売店1店舗が営業開始。 ・宿泊施設1店舗、医療施設1店舗が農振除外許可済み。
住環境(インフラ等)を整えます	重要な幹線道路の整備(富岡荒井線等)	整備課	都市計画道路蝉屋長塚線の予備設計に着手。
	地区計画に基づく道路整備	整備課	地区計画区域内の道路整備に向けた用地買収を進め、道路改良工事を実施。
	安全で快適に生活できるよう道路・橋梁等の修繕 や街路灯を設置・修繕	土木管理課	・地元要望に基づき、道路舗装・側溝・安全施設の補修や街路灯の設置・修繕等を実施。 ・施設の劣化が広範囲に及ぶ路線については、改修計画を立て計画的に取り組んでおり、令和6年度は市道犬山公園小牧線、市道犬山27号線等の舗装改修工事、市道楽田東66号線等3路線の道路側溝改修工事を実施し、街路灯については市内35箇所です新たに街路灯を設置。
	移動支援方法の検討(地域住民の「足」の確保 の検討)	防災交通課 高齢者支援課	・岐阜バス「明治村線」の減便に伴い、沿線住民の通勤・通学に支障が生じたため、対応策として公共ライドシェア(※)を開始。 (※)交通空白地の解消を目的として、道路交通法第78条第2号を適用し、犬山市が主体となり、自家用車(白ナンバー)で有償運送をするもの ・総合的な交通施策の見直しの一環として、令和6年度から、タクシー料金(基本料金)の助成対象を、それまでの85歳以上の方に加え、75歳から84歳までの高齢者のうち、自動車運転免許証を所持しておらず、住民税非課税世帯に属する方にも拡大。
	宅地開発による道路整備の一部を補助	都市計画課	・立地適正化計画の策定による居住誘導区域が設定されたことから、補助要件について見直しを実施。

総合戦略関連事業進捗状況一覧表

【資料2】

基本目標 気持ちいい住環境 “暮らしたいまち”がある

チャレンジする重点事業	新たにチャレンジする主な取り組み	担当課	「新たにチャレンジする主な取り組み」について令和6年度に取り組んだ内容
空き家の活用をすすめます	空き家情報提供(空き家バンク)による情報発信	都市計画課	空き家所有者に対して継続して空き家バンクへの掲載を周知。(令和6年度中の新規掲載件数:9件、掲載取下:6件)
	借主改修型(DIY)空き家事業の活用・啓発	都市計画課	・活用・啓発を推進するため関連セミナーに出席し、事例研究を実施。 ・空き家活用を一層推進するため、補助制度の見直し検討着手。令和7年度から新たな制度による活用策を展開できるよう準備実施。
	空き家に関する相談窓口のワンストップ化	都市計画課	都市計画課が主体となり、周辺的生活環境に悪影響を及ぼすと認められる空家に関する情報の提供があった際の所有者等への初期指導や、所有者等からの空き家の活用に関する相談等を実施。
帰ろう ふるさと犬山へ 暮らそう 働く犬山で	ふるさと定住促進サポート事業(※)	都市計画課	予算上限程度の申込があり、対象者に対して補助金を交付。(件数:29件) (※)市内に親と同居若しくは近くでUターン定住する子世帯に対してリフォーム・購入・新築等の費用の一部を補助
	働きて定住促進サポート事業(※)	都市計画課	予算上限程度の申込があり、対象者に対して補助金を交付。(件数:1件) (※)市内の事業所で1年以上勤務し、市外に1年以上継続して住んでおり、申請者又はその配偶者のいずれかが40歳以下に対して市内で住むための住宅購入・新築等の費用の一部を補助。
「里山に住む」仕組みづくりに挑戦します	優良田園住宅制度の活用	都市計画課	・令和元年度から運用を開始し、令和4年度に計画認定を1件行い、令和5年度に認定に基づき建築を許可。 ・活用促進を図るため、土地の区域要件を緩和を検討・愛知県と協議を実施し、令和7年4月より施行した。
	水辺を活かしたまちづくりプロジェクト	企画広報課 観光課	・ミラマチ栗栖が実施している木曽川沿いの竹林整備や地区の魅力を伝えるイベント(収穫体験祭等)の企画運営に参画。 ・「犬山市かわまちづくり計画」の策定に向けて「犬山市かわまちづくり推進協議会」を設置して全3回の会議を開催し、実証事業の「河畔 de おためし大作戦2025」において、竹あかりアートを木曽川河畔遊歩道へ全長約200mにわたって設置。 ・鵜飼観覧・遊覧を充実させるため、令和4年度に高質化を行った本市が所有する屋形船(若あゆ丸)を活用し、高付加価値/高単価商品造成を視野にいれた鵜飼事業を実施。
環境先進都市いぬやまを目指します	環境基本計画の改訂と推進	環境課	・計画進行管理を継続実施 ・年次計画の推進により得られた結果を「犬山市環境白書」として作成。 ・市民主体で展開する重点プログラムの着手を目指し、いぬやま環境サポーターを募集。
	省エネ支援の強化	環境課	・個人・家庭での省エネ推進のため、住宅用地球温暖化対策設備導入(蓄電池、燃料電池システム等)、既存住宅省エネ改修(高効率給湯機設置)、次世代自動車(電気・燃料電池自動車)購入への補助制度を実施。 ・令和6年度より蓄電池導入に係る補助金の上限額を5万円から15万円に増額。
	広域ごみ処理施設の整備	環境課	令和10年度供用開始を目指し、尾張北部環境組合と連携して整備事業を実施。
誰もがいきいきと暮らせるまちをつくります	子育てと女性の活躍応援事業の実施(再掲)	子育て支援課ほか	(再掲のため略)
	介護予防事業の推進	高齢者支援課	・フレイル予防の推進及びフレイル予防スクールの中で体力チェック等を実施し、その効果検証を実施。 ・令和6年度からフレイル予防スクールの中で保健師によるミニ健康講話を実施。
	地域生活支援拠点整備事業	障害者支援課	・障害者等に対する虐待等の緊急対応のため、拠点施設の機能である短期入所を活用した対応。 ・親亡き後に備えた共同生活援助(グループホーム)における生活体験の機会を提供し、生活の場の移行を推進。
	多文化共生の推進	多様性社会推進課	・外国人市民の社会参画の後押しをするとともに、外国人市民が集まり情報共有を行う場として多文化交流マルシェを開催。 ・多言語情報誌を6言語(ポルトガル語、スペイン語、英語、中国語、タガログ語、やさしい日本語)で作成、外国人市民世帯に直送。 ・愛知県との共催による災害時外国人支援活動講座を開催。 ・外国人相談窓口を設置。 ・コミュニティ通訳者派遣、育成制度を実施。 ・窓口通訳(ポルトガル語・スペイン語)を配置。 ・行政書類翻訳を実施。 ・就学前、学齢期に合わせた日本語教育、日本語教室の開催。

総合戦略関連事業進捗状況一覧表

【資料2】

基本目標 気持ちいい住環境 “暮らしたいまち”がある

チャレンジする 重点事業	新たにチャレンジする 主な取り組み	担当課	「新たにチャレンジする主な取り組み」について 令和6年度に取り組んだ内容
(前ページ続き) 誰もがいきいきと暮らせるまちをつくれます	健康市民づくりの推進	健康推進課	・第3次みんなで進めるいぬやま健康プラン21及び第2次自殺対策計画の策定。 ・フレイル予防対策として、フレイルチェック票を活用したセルフチェック及び予防支援のための講座等の開催。 ・フレイルの周知啓発・早期発見と予防のためのアイフレイル・オーラルフレイル健診を実施。
地域の集いの場づくりを応援します	地域の集いの場づくりの支援	高齢者支援課	・各地区の生活支援コーディネーターとの連携。 ・第1層生活支援コーディネーターを中心としたサロンの世話人交流会や第2層協議体の交流会を開催し、地域間での情報交換を実施。
安全・安心に暮らせるまちをつくれます	通学路安全(路側帯のカラー舗装等)対策整備	土木管理課 学校教育課	・「犬山市通学路交通安全プログラム」に基づき、プログラムに位置付けられたグリーンベルトやカラー舗装等の整備が計画的に進むよう調整し、整備を実施。(整備実績：市道犬山富士線等4箇所) ・通学路安全対策連絡協議会で協議し、学校からの要望のうち新たに対策予定として4箇所を追加した。
	家庭や地域での防犯・防災対策支援	防災交通課	・家庭の防犯対策や地域での見守りを強化するため、防犯対策費補助金及び防犯カメラ設置費補助事業を継続実施。 ・防災対策の強化のため、感震ブレーカー設置費補助金及び家具等転倒防止器具取付事業を継続実施。
	災害対策、非常時の体制整備	防災交通課	所要の修正を加えた上で、地域防災計画に組織体制や分掌事務を定め、迅速な災害対応の体制を整備。
市民サービスをもっと簡単に分かりやすく	ICTの活用(手続きのオンライン化、キャッシュレス化)	情報政策課 収納課ほか	複雑さの解消を図り、利便性を高めるため、手続きごとに異なっていたオンライン手続きの方式を一元化するため、電子申請システム、スマート申請システム、窓口予約システム等、インターネットで行う各種手続きシステムをひとつに集約。
	手続きの簡素化	全課	・住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金の手続きのオンライン化。 *新規実施分のみ掲載



総合戦略関連事業進捗状況一覧表

【資料2】

基本目標 居場所と出番 “活躍したいまち”がある

チャレンジする 重点事業	新たにチャレンジする 主な取り組み	担当課	「新たにチャレンジする主な取り組み」について 令和6年度に取り組んだ内容
犬山らしい教育を進めます	読解力向上推進	学校教育課	・「犬山読解力テスト」の内容解説シートを作成し、学校が結果を分析したり指導を改善したりするための資料として活用。 ・実践の質的・量的向上を図るため、読解力を育む授業について市内各校で研究を実施。
	図書館改革	学校教育課 (文化推進課)	・図書館コーディネーターを推進拠点校に配置し、読書推進の指導・調整を行うとともに、そのノウハウを他校へ広げ、豊かな読書を促す実践を市内全校で実施。 ・市立図書館の学校連携司書によるイベントを計画し、市内全校で特色ある読書推進の取組を実施。
	学校施設の計画的な改修	学校教育課	年次計画に基づき改修工事を実施(実績:犬山南小学校長寿命化改良工事・犬山西小学校非構造部材改修工事・特別教室空調設備設置工事)
がんばる企業と新たな起業を応援します	後継者バンク創設	産業課	・後継者情報が集積されている愛知県事業承継・引継ぎ支援センターと連携し、市が実施する無料相談と連動する仕組みを運用。 ・事業継続支援補助金制度における事業承継のための補助金活用用途の拡大。
	企業のマーケティング戦略の支援強化	産業課	事業継続支援補助金制度の運用により中小企業者25件に対して事業継続のための経営計画策定を支援し、24件に対して経営計画実現に資する補助金を交付。
新たな地域ブランド開発を応援します	新たな特産品の開発支援	産業課	事業継続支援補助金制度の活用により市内事業者に対して事業継続に必要な新たな特産品の開発を支援。
	特産品・工業製品を通じた市外への犬山PR作戦	産業課 企画広報課	・特産品協会による姉妹都市2市(日南市・石垣市)のイベント時に出店し、特産品のPRを実施。 ・県内イベントに特産品協会が出店し、特産品のPRを実施。 ・日南市に新設された道の駅での委託販売について関係者と調整し、実現の可能性を探った。 ・移住の促進、住むまちとしてのPRを目的としたイベント(名古屋市中区)に出展し、市内事業者の協力のもと特産品PRを実施。
	新たに開発・商品化した事業者に対する販売促進活動などへの助成(6次産業化支援事業など)	産業課	・農産物等ブランディング推進補助金により1件の農産物加工品開発(6次産業化)の支援を実施。 ・市内農産物の新たな6次産業化に向け、ブランディングやPR方法を学ぶ農業人材育成研修を2回実施。
「しごとの場」を増やします	産業集積誘導エリアへの企業誘致	産業課	・市外の製造業2社(中小企業)が工場立地し操業開始、製造業2社(中小企業、大企業)が農振除外済み。 ・市内の製造業3社(中小企業)が工場増設に着工。
	企業再投資促進	産業課	・産業集積誘導エリアに工場増設中の市内製造業3社のうち1社が、企業再投資促進補助金の認定決定を受け、令和8年度に交付予定。 うち1社に対して令和7年度の認定決定に向けて申請準備への支援を実施。
農業でがんばる人を応援します	耕作放棄地対策	産業課	荒廃農地等利活用促進事業補助金の活用(交付)により0.18ヘクタールの農地で耕作が再開。
	農業の担い手育成	産業課	新たな農業の担い手の確保を図るため、新規就農支援補助金により農業を開始する者2名に対し、必要な農業用機械等の導入経費を支援。
シェアリングエコノミーでスキルを活用	シェアエコの普及活動	企画広報課	・シェアリングエコノミーについて市ホームページによる周知を実施。 ・犬山総合高校との連携・協力に関する包括協定に基づき、1年生の探究学習のテーマとして選定し授業を実施。
	シェアエコを活用した地域課題の解決	企画広報課	・シェアリングエコノミーの取組みを進める民間団体等と連携し、地域課題(駐車場不足)の解決を図り、駐車場シェアにおける市ホームページでの周知。 ・犬山総合高校との連携・協力に関する包括協定に基づき、1年生の探究学習のテーマとして選定し授業を実施。

総合戦略関連事業進捗状況一覧表

【資料2】

基本目標 居場所と出番 “活躍したいまち”がある

チャレンジする重点事業	新たにチャレンジする主な取り組み	担当課	「新たにチャレンジする主な取り組み」について令和6年度に取り組んだ内容
文化・スポーツで活躍できるまちへ	社会教育施設の修繕	文化推進課 スポーツ交流課	・塔野地公民館トイレの利便性を図るため、1階和式トイレ(1基)・多目的トイレ便器を和式から洋式、また、多目的トイレの扉を連動引き戸に改修。 ・図書館について、樋の変形箇所から雨水が侵入したことで1階開架室北側天井(個人全集コーナー横)にて雨漏りが発生し、天井の石膏ボードが落下したため、天井材及び壁紙の張替えを行い、垂れ下がった状態となっていた樋の修繕を行う等図書館北面漏水箇所修繕工事を実施。 ・文化会館の冷却塔について、全体的に錆や腐食が進行しており、いつ故障し運転が停止するかわからない状態であり、故障した場合、夏場の催事が実施できなくなるため、更新工事を実施。
犬山の活性化へ金融機関・商工会議所・大学等と連携	連携事業候補の洗い出し	全課	・犬山市における地域共生社会の実現に向けた地域づくりを進めるため、重層的な支援体制の整備に関し令和7年1月14日付けで日本赤十字社愛知県支部と包括連携協定を締結。 ・犬山高等学校、犬山総合高等学校、名古屋経済大学の学生向けに、認知症に対する正しい知識と関わり方を学んでもらうため、認知症サポーター養成講座を開催。 ・名古屋経済大学栄養学科の教員に食育推進関連会議の委員として事業の協力、助言を受けており、また市民向け健康講座の講師を依頼した。 ・持続可能な観光地まちづくりの実現を目標に、犬山商工会議所・犬山まちづくり株式会社・(一社)犬山市観光協会・犬山市の4者をメンバーとし、「SDGs観光まちづくり会議」を開催し、観光地犬山の課題共有を図るとともに、改善・解決に向けた具体的な取組みを検討。
	リーディングプロジェクト(先行事業)の抽出・検討・実施	企画広報課	市制70周年記念事業に際して、新たな事業機会創出として市内事業者を中心とした協議や連携事業を実施。その一例として、企画から製造まですべて市内で実施した犬山市オリジナルトイカプセル「いぬやまガチャ」や、市内事業者が有するオリジナルパッケージ(意匠権・実用新案権・商標権を取得済)を使用した記念グッズなどを制作。
みんなで地域力UP！にチャレンジ	地域の課題解決支援事業	地域協働課	「地域の課題解決支援事業」として実施した事業はなし。
市民が主役のまちづくりを進めます	協働プラザの整備・運営	地域協働課	・委託事業者のプロポーザル時の提案事項に基づき、協働プラザを運営し、相談・助言業務、地域資源バンクの運用及びシェアリングエコノミーによる活用、地域の担い手育成事業等を実施。
	市民活動支援施策の推進	地域協働課	11団体に市民活動助成金を交付。(交付額:1,300,000円)
	市民活動団体が自立するための団体経営に関する支援の強化	地域協働課	協働プラザにて担い手育成事業に関する講座を開催。(開催回数3回、参加者数延べ48名)
	協働のまちづくり基本条例の推進	地域協働課	条例の趣旨や目的を周知、浸透させるため、ホームページ等による周知を実施。
	市民活動支援条例の改正	地域協働課	旧市民活動支援に関する条例を見直し、令和4年10月に「犬山市公益的活動の支援及び市民参加に関する条例」として改正を行い、以降、条例の趣旨や目的を周知、浸透させるため、ホームページ等による周知を実施。
	”活躍の場”づくり(フューチャーセッション)	地域協働課	全5回開催、延べ81名が参加。
	地域資源バンクの活用	地域協働課	・地域資源を33件登録し、43件のマッチングを実施。 ・地域資源バンクの運用、シェアリングエコノミーによる活用。

総合戦略関連事業進捗状況一覧表

【資料2】

基本目標 人の流れ “訪れたいまち”がある

チャレンジする 重点事業	新たにチャレンジする 主な取り組み	担当課	令和6年度に取り組んだ内容
シティプロモーションを積極展開します	市ホームページリニューアルなどによる効果的な情報発信	企画広報課	・紙面の特徴(全戸配布・全ページカラー化)を活かし、かつ、定住促進にも効果的な情報誌としての活用を目指して、令和7年度からの広報紙リニューアルを計画し、新紙面のデザイン案を決定するコンペを実施。最優秀作品のもと表紙等の新デザインを決定。 ・令和6年3月に新設した「住むまち」情報を集約した専用ウェブサイトに、移住者のインタビュー記事を掲載するなどコンテンツや情報を追加。
	シティプロモーション強化事業	企画広報課	・過去に作成したPR動画を活用したYouTubeでの動画広告やX等のSNS広告を実施。 ・令和6年3月に新設した「住むまち」情報を集約した専用ウェブサイトに、移住者のインタビュー記事を掲載するなどコンテンツや情報を追加。【再掲】 ・市制70周年記念事業に際して、新たな事業機会創出として市内事業者を中心とした協議や連携事業を実施。その一例として、企画から製造まですべて市内で実施した犬山市オリジナルトイカプセル「いぬやまガチャ」や、市内事業者が有するオリジナルパッケージ(意匠権・実用新案権・商標権を取得済)を使用した記念グッズなどを制作。【再掲】 ・移住の促進、住むまちとしてのPRを目的としてイベント(東京都千代田区(1日)・名古屋市中区(14日間)・豊田市(1日)・小牧市(1日))に出展。
戦略ある“観光まちづくり”をすすめます	観光戦略の策定と推進	観光課	・犬山市観光戦略を基に、8つの重点プロジェクトをはじめとする施策を順次実施。 ・犬山市観光戦略会議を開催し、委員からの意見・提案を受け、PDCAサイクルの中で業務の見直しや検証を実施。
	観光×〇〇事業	観光課	・体験型観光メニューの造成支援(担い手、利用者の募集)及びシェアリングエコノミーを活用した仕組みづくりによる観光コンテンツの普及・拡充。 ・独自のコンテンツ開発(花手水の実施等)を行うなど様々な主体との連携。
木曽川河川空間を活性化します	木曽川河畔の整備(栗栖地区)	企画広報課 観光課	・ミラマチ栗栖(※)の活動に参加し、企画や実施などの支援を実施。 (※)栗栖地区の住民と栗栖が好きな人が集まって、栗栖地区の発展やまちづくりのために様々な活動をしている市民活動団体。 ・「犬山市かわまちづくり計画」の策定に向けて「犬山市かわまちづくり推進協議会」を設置し全3回の会議を実施。 ・栗栖園地の将来的な維持管理に関して関係者で課題を共有するワークショップの開催。 ・栗栖園地南側の活用のため、愛知県の補助金を活用して令和4年度から継続して地元住民等と延べ73名との協働により約1,300㎡の芝貼りを実施。
	地域の魅力づくりと発信(栗栖地区)	企画広報課 観光課	ミラマチ栗栖の活動は、市広報(市民のひろば)、尾北ホームニュース、CCネット(ケーブルテレビ)、民間事業者が運営する体験申込サイトなどで発信。また、市としても、ミラマチ栗栖が国(国土交通省中部地方整備局)より感謝状の贈呈を受けた際には、市ホームページ等で紹介。
	飲食・物販やイベントを通じたにぎわいと地域活力の創出(内田地区)	観光課	・8月1日～10日の日本ライン夏まつりロングラン花火の開催に向けて市内企業を中心に協賛金の協力を呼びかけ、292万円の協賛金を得た。 ・犬山朝市協同組合等の関係者と連携し「宵のいぬやMARCHE」を実施。全29店舗が出店したほか、内田地区の住民等と協働し、「宵のカタリーヴァ」として子ども向け体験ブースを設置。
文化財を保存し、魅力を創出・発信します	歴史資料等の収集・編纂	歴史まちづくり課	平成時代の約30年間を中心に犬山市に関する資料をまとめた『犬山市史 資料編 平成』を発刊。
	文化財保存活用地域計画の策定	歴史まちづくり課	・令和5年7月21日に国の文化審議会文化財分科会の答申を経て、文化庁長官の認定を受けて、計画を策定。 ・令和5年度に立ち上げた「犬山歴史文化ぷらっとフォーム」の活動として、市内各所にある「文化財看板」をより見やすく、わかりやすくするための勉強会とワークショップを全3回開催。 ・ワークショップの成果を基に、実際に市内の文化財看板1基をより分かりやすいものに更新。
	(犬山城)城山などの史跡整備	歴史まちづくり課	・犬山城大手門枡形跡(犬山市福祉会館跡地)の整備計画を含む史跡犬山城跡整備基本計画(案)を策定。 ・遺構の保存や眺望に影響を与える樹木を剪定・伐採。